

ひとりで悩まないで

学校に行きづらい子どもの保護者の集い(第15回)(報告)

調布市教育相談所

《事業のねらいと概要》

学校に行きづらい児童・生徒の保護者の多くは、お子さんへの接し方などにひとりで悩み孤立しがちです。そこで、保護者を対象とした話題提供や情報交換の機会をつくるなど、お子さんへの対応のヒントや心のサポートを得られるようにすることがこの事業のねらいです。

平成23年10月から「学校に行きづらい子どもの保護者の集い」として各学期に1回実施し、通算15回目となりました。

今回は、お子さんの不登校を経験した保護者の方(お二人)から、体験談等を伺いました。

- 日 時：平成28年5月30日(月) 午後2時から午後4時まで
 場 所：調布市教育会館301研修室
 主 催：調布市教育委員会(指導室, 教育相談所)
 講 師：松尾 直博 氏(東京学芸大学教育学部准教授, 臨床心理士, 学校心理士, 調布市教育委員会 不登校児童生徒支援プロジェクト スーパーバイザー)
 内 容：1 学校に行きづらい時期があったお子さんの保護者のお話
 2 学校に行きづらい時期があったお子さんの保護者のお話
 3 質疑応答
 4 松尾先生のお話
 参加者：16人 参加者アンケート：回答 15件
 参加回数(アンケート回答者)：初参加9人, 2回3人, 3回以上2人

<感想>

- Oさん・・・不登校経験のある男子・女子(一人ずつ)の母
 Kさん・・・不登校経験のある男子の母

- ・ 今日、不登校の子どもを持つお母様の実体験を聞かせていただいたこと、自分だけが、我が家だけが何でこんな思いをしなくてはならないか、とても辛い気持ちでいますが、(もちろん、一番辛いのは我が子と分かっているが)話を聞いた今、少し気持ちが

和らぎました。自分だけではないと思えると、帰ってから、又明日から、子どもと向き合い、希望を持って生きて行けそうです。

- ・ Oさんのお二人のお子さん、Kさんの息子さん、ともに子どもが自ら成長する力の強さを改めて知ることができ、それが一番、心に残りました。自分自身のことも、お二人の母親としての姿勢や態度と共通する部分があり、思わず反省してしまいました。(Kさんの息子さんと同じで、環境の変化に弱い娘がいるので.....。)
- ・ Oさん、Kさんの体験談は本当に貴重なお話でした。ありがとうございます。
- ・ 初めての参加でしたが、たくさんの参加者がいたことに、まず驚き、心強く思いました。お二人の経験者のお母様には、辛い話を本当にありがたく聞かせていただきました。特にOさんの娘さんとは、同じ小3の娘で私も悩んでいるので、大変参考になりました。お二人ともおっしゃいましたが、子どもを信じることの大切さを痛感しました。また、松尾先生の「足場」として受け入れてくれる場となれること、大切と思いました。
- ・ 貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。自分自身の親としての経験や感情を思い出すこともあり、共感しました。言葉にすることは、大変だったと思います。今日は本当にありがとうございました。
- ・ 経験者の方の話を初めて聞くことが出来て、とても良かったです。不登校の子が多いと数では知っていても、同じように悩んで、そして越えて行かれたことに、力をいただくことができました。ありがとうございました。
- ・ お二人の経験談を元にしたお話は、とても大変心にしみるものでした。不登校になった経緯や兆候から、母親としての葛藤、本人の苦しみなど、ご苦労されていた経過が大変参考になりました。もう一度、子どもとの関係を考えたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 自分の現在の状況と重なるお話があり、「自分だけではないんだな」と励まされました。少し気長にゆっくりやっっていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・ 初めて参加しました。親として、自分の考えや行動が正しいのか、毎日悩むことではありますが、お母様お二人の話を聞いて、自信をもって、子どもたちに接していこうと思えるようになりました。経験や、その時の気持ちを聞けたことは、とても良かったです。勇気をもらいました。
- ・ 胸がいっぱいになりました。ありがとうございました。
- ・ 実体験の方のお話が聞けてとてもいい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- ・ 先輩方のお話は自分の状況と重なる部分も多くとても参考になりました。子どもを信じること、安心していられる自宅、母親になれるよう、心がけようと思います。
- ・ 同じような辛い経験をされているお母様のお話を伺い、共感し、辛くなると共に、一人ではない、頑張っていけばいつか希望が見えてくる日も来る、と感じました。本当にありがとうございました。
- ・ 保護者の方の実体験を聞く時間を沢山とってくださり、「トンネルの出口は必ずある。」「必ず春はくる。」と思えました。ありがとうございました。

松尾先生のお話をもっとお聞きしたかったです。

- ・ OさんもKさんも、とても立派に女性として、母として、親として、大人として、人として、生きておられると思いました。よく最近、「女性が輝く社会」とか「一億総活躍社会」とか言われますが、「輝く」って何だろう？と思っています。子どもを保育所に預け、社会で仕事をバリバリ続け自分らしく生きる……そんなイメージがあります。OさんもKさんも決してそうではないかもしれませんが、私には光って見えます。そして、本当にこれからの社会を支えるのは、お二人のように、弱い人たちの気持ちを真に分かり合える人達なのだと思います。自分もまだまだ修行中です。がんばります。
- ・ Kさんのお話にあった、夫の理解が得られないことに大変困ったり悩んだりしています。夫に対しての会などがあるといいと思いました。(私が話しても理解してもらえないので)
- ・ 先生のお話をもっと聞きたかったです。
- ・ お母さんの話や、松尾先生や富永さんが答える時間を増やしてほしい。
- ・ 毎回このように先輩お母さんのお話をお聞きできたら、と思います。また、不登校を乗り越えたお子さんの声もお聞きしたいです。
- ・ 会の回数がもっと多いといいと思います。学校や先生の理解がないように感じるので、先生たちに勉強してもらえるような会もあるといいと思いました。
- ・ 前もってアンケートや質問をHPで募集し、それに沿って話されると、とても内容の濃い会になるのではないかと思います。

次回開催予定 平成28年10月7日(金)午前10時から正午まで 301研修室